

### 今号の主な記事

- ◇証明書自動交付機を10月から商業施設に設置……………2面
- ◇「西宮酒ぐらルネサンスと食フェア」開催……………4面
- ◇保健だより……………8面



## レジ袋削減へ マイバッグを持って買い物に

市民・事業者・行政で進めるごみ減量

レジ袋の大量消費は、様々な環境問題につながっています。日ごろからマイバッグ（買い物袋）を持って買い物に行きませんか。私たち一人ひとりができることを考え、今日から始めましょう

### ごみカレンダー ホームページと携帯電話で



町名別月間・年間ごみ収集日を掲載

ごみの減量と分別排出を促進していくため、市のホームページで「ごみ収集日」をお知らせしています。新たに町名別に月間・年間のごみ収集日が分かる「西宮市ごみカレンダー」の掲載を始めました。

また、携帯電話サイトからも検索できるようになりました。ぜひ、ご利用ください。

【アクセス方法】ホームページアドレス (http://www.nishi.or.jp/homepage/m/gomi/)、または右上のQRコードからアクセスを

【情報料】無料(要通信料)

### なぜマイバッグ?

1年間に全国の家庭からごみになるレジ袋は、約300億枚になると言われています。

一人ひとりがマイバッグ（買い物袋）を持ち、レジ袋を使わないことで、ごみ減量が進むとともに石油消費量が減り資源の浪費が抑えられます。また、

### 3者初の懇談会

ごみ減量・再資源化の事業と啓発活動を幅広く進めていくため、8月5日に消費者・事業者（食品系量販店）・行政による「レジ袋削減に向けた懇談会」ができました。

市は今年3月に「西宮市ごみ減量推進計画」を策定し、大量消費社会から環境への負荷が少ない循環型社会への転換を目指し、持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

限りある資源を守り、ごみ減量・再資源化を進めていくため、年内に市民・事業者・行政の3者によるレジ袋削減などの協定締結を目指し、また市内主要駅前（マイバッグ（買い物袋）持参を呼びかけます。

問合せはごみ企画グループ（0798・35・8650）へ。

### にしのみや市民祭りでアンケート調査 レジ袋有料化賛成 84%

環境衛生協議会などが、にしのみや市民祭りで「マイバッグ（買い物袋）持参とレジ袋の削減を呼びかけ、アンケート調査をしました。

結果は、レジ袋の有料化に賛成の人が84%、反対の人が10%、有料店を避け無料店に買い物に行く人が5%になりました。また、来場者の3人に2人はマイバッグを持参していることが分かりました。

を開催しました。

懇談会には事業者9社と西宮市商店市場連盟、西宮商工会議所、消費者4団体、市が出席。懇談会で山田知市長が「マイバッグ持参によるレジ袋削減をきっかけに、一人でも多くの人がごみ減量に取り組んでいただくため、意見を出し合ってください」とあいさつを述べました。

3者が集まったの取り組み報告や意見交換が行われるのは、今回が初めて。マイバッグ持参を通じて、ごみ減量を図り、環境悪化の防止を目的とする取り組みや改善など活発に意見が交換されました。

懇談会の最後に、マイバッグ持参とレジ袋削減をより一層推進するため「レジ袋削減推進委員会」を設置し、継続して協議を進めていくことを決めました。

### マイバッグ持参を

10月8日午前7時半から阪神西宮駅、阪神甲子園駅、阪急西宮北口駅、JR西宮駅、JR甲子園駅の5駅でマイバッグ持参を呼びかけるキャンペーンを行います。また、各地区で開催するごみ巡回相談会でも、マイバッグ持参とレジ袋削減の取り組みを皆さんに呼びかけます。環境に優しいライフスタイルの実践、みんながマイバッグを持って買い物に行くなど、できることから始めましょう。ご理解と協力をお願いします。

### 年内に3者協定締結へ

9月19日に第1回「レジ袋削減推進委員会」を開催し、各事業者がレジ袋などを削減する具体的な計画案を報告しました。そして年内に3者がレジ袋削減などの協定締結を目指すうえでの課題を検討しました。

また、幅広い年齢層へ呼びかける啓発活動として、消費者・事業者・行政によるマイバッグ持参とレジ袋削減キャンペーンを市内主要駅前で行うことになりました。

「ミヤンマー・サイクロン義援金」  
総額 66万4746円

「中国四川省地震義援金」  
総額 159万1600円

「ミヤンマー・サイクロン義援金」と「中国四川省地震義援金」の受付は、8月31日で終了しました。「ミヤンマー・サイクロン義援金」の募金総額は66万4746円、「中国四川省地震義援金」の募金総額は159万1600円になりました。

皆さんからお寄せいただいた義援金は、「ミヤンマー・サイクロン及び中国四川省地震兵庫県義援金募集委員会」を通じて、被災者などの支援に役立てられます。問合せは防災・安全総務グループ（0798・35・3547）へ。

推計人口 47万8802人  
(女25万1873人、男22万6929人)  
世帯数 20万2686 面積 100.18km<sup>2</sup>  
平成20年(2008年)9月1日現在